

かけはし

(題字・佐々木英明氏)

第 50 号

発行日：令和7年10月1日
発行元：陽東地区まちづくり協議会
〒321-0904
宇都宮市陽東2-16-36
(陽東地域コミュニティセンター内)
TEL/FAX 028(662)6269
E-mail : yoto_com@flower.ucatv.ne.jp

ホームページ



陽東地区の人と人、心と心の「かけはし」に…

『まちづくり懇談会』開催 自由闊達な意見交換が行われました 7/12(日)



撮影：陽東地区まちづくり協議会広報担当 加藤 弘

あなたの声を市政へ
まちづくり懇談会

ネットワーク型コンパクトシティの形成など、宇都宮市の取り組みを説明する佐藤栄一市長



「当日意見」の一番手は陽東中学校の内 結菜さん

まちづくり協議会 戸井基幸会長が代表挨拶

陽東地区では9年ぶり

市長と住民の意見交換会

陽東地域コミュニティセンターでまちづくり懇談会が開催されました。前回（令和3年）はコロナ禍で書面開催でしたが、対面での懇談会は9年ぶりで、住民35名が出席しました。以前は地域の意見や要望を事前に提出し、当日市長が回答する形でしたが、今回から自由闊達な意見交換ということで、まちづくり協議会から提出した「地域意見」以外は、すべて「当日意見」で、8人の方から自由に発言があり、市長が回答しました。

【地域意見】

高齢者等交通弱者に対する移動支援について

陽東地区では地域によって公共交通の利便性に大きな差があり、地域が一体となつて運営する地域内交通の導入は難しい。高齢者の移動支援の現実的な施策としては、高齢者外出支援事業（トラ）福祉ポイントのタクシー利用の早期実現を図るべきではないか。

【市】

タクシーに専用の決済端末設置が必要で費用等の課題があり、今年度検討を進めてまいります。

（「当日意見」の概要は次頁に掲載）

住んでよかった ずっと住みたい このまち 陽東

陽東の二つの神輿(大人・子ども)はいかにして生まれたか？



一見して分かるように、神輿らしい神輿ではありません。でもこの絵はどこかで見たと言う方が少なくないと思います。江戸時代に活躍した絵師の尾形光琳の『風神雷神図屏風』を元に、まるで二匹の鬼のように迫力のある風神(風の神様)と雷神(雷の神様)が描かれています。風神と雷



風神と雷神の大人神輿

も少し時間がかかりそうです。

子ども神輿が作られたのは大人神輿よりもさらに古く、20年前の平成17年、当時、青少年育成会の会長を務めていた大塚昭次さん(故人)が、祭りを象徴するものが何もなく、陽東にも神輿をという思いから、青少年育成会と「F's とうとう(親父の念)」が中心となり、有志を募って浄財を集めたそうです。メンバーに職人さんを知っている方がいて、職人さんの協力で作成されましたが、集めた資金だけでは十分でなかったため、最初にできたのは、色や飾りなどもまったくなく、木肌の状態だけの神輿だったそうです。その後、祭りの時に集まった浄財(お賽銭)などで屋根を黒と金色で塗ったり、鳳凰の飾りなどを付けて、現在の姿になりましたが、金具



完成途上の子ども神輿

陽東の神輿誕生物語
7月27日(日)、陽東夏祭りが開催されました。今年の夏は厳しい猛暑続きでしたが、幸い当日は少し暑さが和らぎ、6年ぶりに大人神輿の巡行が復活したこともあって、大変な盛り上がりを見せました。昨年に続いて校庭で子ども神輿の練り歩きもあり、初めての参加者からは「陽東にもこんな神輿があったんだ!」という驚きの声がかれたそうです。今回は陽東の2基の神輿の誕生物語を紹介します。

神は厄除けや五穀豊穡、災害防止の神様として古くから人々に崇められてきました。今から16年前の平成21年、当時陽東で広告業を営まれていた宮本勝也さんが「神社のない陽東地区にも神輿がほしい」という要望を受けて、インクジェットプリントで作成されたそうです。宇都宮は「雷都」と呼ばれるくらい雷の多いまちですが、宮本さんは陽東に最高のモチーフの神輿ができたという自画自賛されていたそうです。

- 【当日意見】出席者の自由意見
- ①魅力ある自治会イベントの開催について(中学生の発言)
 - 陽 自治会のイベントがより魅力的なものになれば未加入者を惹きつけられるのではないかと。例えば栃木SCなどの公演があるようなイベントがあれば若者も惹きつけられるのではないかと。その際、スマホ等で簡単にイベント予約できるような仕組みがあれば、気軽に参加できるような気がする。
 - 市 栃木SCなどプロスポーツチームは小中学校で様々な教室を開いてくれている。お互いが支え合うまちづくりにおいて自治会と消防団は重要であり、今後も自治会には力を入れていきたい。
- ②陽東さくら通りの路面改修について
 - 陽 陽東さくら通りの路面が劣化しているのを早期に修繕してほしい。また制限速度超過の車が多いので、交通ルール遵守のために何らかの対応を要望したい。
 - 市 道路の現状を確認して適切な修繕方法を検討する。交通ルールの遵守については警察へ情報提供して対応検討を要請する。
- ③地域イベントの補償について
 - 陽 夏祭りを運営しているが、何か問題があった時の補償の面で不安がある。このような地域で行うイベントに対して、事故が起きた場合の市の補償制度はないのか。
 - 市 ボランティアに対してはボランティア活動補償制度がある。一般参加者にはスポーツ安全協会保険など、民間のレクリエーション保険を活用いただきたい。
- ④福祉の困りごとを受け止める市の体制について
 - 陽 市の総合計画に「福祉の困りごと相談できる窓口を作っていく」とあるが、どうなっているか。
 - 市 様々な問題を広く受け止めることができるよう、保健と福祉の相談窓口「EメールU」を設置した。窓口は地域保健福祉担当5か所、地域包括支援センター25か所があるので活用してほしい。
- ⑤連携を図った行政運営について
 - 陽 スマートシティの実現には、市と警察など他組織とのデータの共有と活用、相互監視など、行政組織の壁を越え、組織間の連携を図った行政運営が重要と考える。例えば、市と警察の連携がうまく図れば、交通事故ワーストなどの問題にも対応できるのではないかと。
 - 市 交通安全については、県警と連携して啓発などを行っている。道路についても、標識や路面標示の設置等の交通安全対策を県警と連携しながら実施している。
- ⑥ライトラインの輸送力増強及びイベントの開催について
 - 陽 ライトラインの混雑が悪化している。7月から清原工業団地への通勤用のバスが無くなったことも影響している。改善策は考えているのか。
 - 市 LRTの利用者は8月の2周年の頃には1000万人を超える見込みである。混雑状況を改善するため、車両の下部にあたる「台車」を2編成発注した。この台車が常時待機することで、車両が車検などで運行できない場合などでも、台車に車両を載せればすぐに使えるので混雑の緩和にもなると考えている。PRのため声優の方に来てもらっ
- ⑦生涯学習講座での講師謝礼等について
 - 陽 生涯学習講座での講師謝礼の額を上げてほしい。また、2台から1台になった生涯学習で使えるバスを増やしてほしい。
 - 市 後日改めて連絡したい。
- ⑧ひとり暮らしのひきこもり者への対応について
 - 陽 地域にひとり暮らしのひきこもりの中年男性の方がいる。民生委員として現状把握したいが、本人と接触ができず困っている。市にはこのような相談窓口がない。
 - 市 市としてどういう接点があるか調べて後日回答したい。
- ⑨(所管課の対応)当該男性に対して所管課において対応している状況などを発言者に説明し、了承を得た。

陽東地区校庭キャンプ

実行委員長 田中一弘

8月16~17日、猛暑日並みの暑さの中、「非日常体験を子どもたちに」をコンセプトに恒例の校庭キャンプを開催しました。

ここ数年は雷雨に見舞われましたが、今年は火起こしから飯盒による炊飯、テントでの宿泊、夜の学校探検など、“ブルスベック”の活動ができました。

縄文式による火起こしは、



“火の神”降臨(左端)

キャンプファイヤー点火



体育館にテント設営



縄文式火起こし

成功した班が半数近くもありました。木の棒を勢いよく回転させて板にこすり合わせ、やっと火がついた瞬間は、子どもたちだけでなく、協力した大人たちも一緒に感動するひと時になりました。

子どもたちのために、5月からご協力いただいた各団体、役員の皆様、先生方、そして当日お手伝いいただきましたすべての皆様に感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

陽東の10月は、50フィフティ 50フィフティ 50フィフティ

今年が陽東小学校創立50周年、同校の校区を区域とする「陽東地区」が誕生して50周年です

地区創立50周年記念『ようとう50祭(さい)』10/26(日)開催

陽東地区まちづくり協議会主催により、『ようとう50祭』を開催します。

- ・日時 10月26日(日) 午前10時~午後2時
- ・会場 陽東地域コミュニティセンターと駐車場、陽東小学校体育館
*許可車以外は駐車できません。来場は徒歩または自転車で。

〈第1部：午前10時~午後1時〉

音楽演奏、ダンス、マジック、模擬店(飲食、産直野菜)、eスポーツ体験、サークルの作品展示、ひょうたん工芸体験(先着20名)、ゲームなど

〈第2部：午後1時~午後2時〉

クラブサングのダンスパフォーマンス、マーキュリーバンド(吹奏楽)



先着50名 ゲーム機4台でeスポーツ体験ができます(時間制)



宮パスを提示した方
おいしいプレゼントが
あります(数量限定です)

広報紙「かけはし」第50号

広報紙「かけはし」は本号が第50号です。創刊時にはまだ名前がなく、公募を経て「かけはし」と名付けられました。



名前のない創刊号
(平成20年1月)



「かけはし」初号
(平成20年7月)

陽東小学校創立50周年



昭和51年(1976年)4月、峰小学校から分離し、石井町へ新築移転した陽東中学校の跡地に設立されたのが陽東小学校です。しばらく元の中学校の校舎が使われていましたが、平成5年(1993年)2月、新校舎が落成しました。

また、体育館は平成18年(2006年)3月に落成しました。

